

19 名古屋臨海高速鉄道株式会社

令和2年7月1日現在

設立年月日	平成9年12月2日	代表者氏名	代表取締役社長 大島 尚美		
所在地	名古屋市港区十一屋一丁目46番地			電話番号	052-383-0954
ホームページアドレス	https://www.aonamiline.co.jp/cgi/index.asp				
資本金・基本金	100,000千円	市出資・出捐金	76,939千円 (76.9%)		
所管部局	住宅都市局都市計画部交通施設管理課			電話番号	052-972-2730
設立目的	「ひと」「もの」「情報」の交流・交易拠点である国際港湾・名古屋港と名古屋都心部とを結ぶ路線として、また、名古屋西南部地域の基幹公共交通サービスの充実と沿線の均衡あるまちづくりの促進のため、貨物専用であった西名古屋港線の旅客化を図ることを目的とする。				
主な事業	事業名	令和元年度 営業収益	事業の概要		
	鉄道事業	3,037,276千円	第一種鉄道事業及びそれに付帯する事業の運営		
役職員数		常	勤 非 常 勤		
	役員数	5人 (うち市派遣)	1人 (うち市OB)	2人	5人
	職員数	116人 (うち市派遣)	5人 (うち市OB)	3人	16人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,504千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		4,714千円
			正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		34歳
市からの財政支出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	委託料	0千円	0千円	0千円	
	内 随意契約金額	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	補助金	0千円	0千円	0千円	
	指定管理料	0千円	0千円	0千円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
	経常収益	2,970,673千円	2,982,998千円	3,052,196千円	
	経常費用	2,332,119千円	2,302,715千円	2,533,154千円	
	経常利益 (損失)	638,554千円	680,283千円	519,042千円	
貸借対照表	当期利益 (損失)	667,816千円	978,743千円	390,105千円	
	総資産	5,665,849千円	6,652,986千円	7,195,742千円	
	内 流動資産	(2,788,633千円)	(2,607,194千円)	(3,501,966千円)	
	内 固定資産等	(2,877,216千円)	(4,045,792千円)	(3,693,776千円)	
	総負債	1,274,157千円	1,282,552千円	1,435,202千円	
	内 流動負債	(628,210千円)	(611,590千円)	(872,223千円)	
	内 固定負債等	(645,948千円)	(670,962千円)	(562,979千円)	
純資産 (正味財産)		4,391,692千円	5,370,435千円	5,760,539千円	

経営に関する指標（共通指標）

19 名古屋臨海高速鉄道株式会社

○法人の自立性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
		令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	20.0%	20.0%	0.0%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	71.8%	73.3%	+1.5%
○組織運営の効率性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
販売・管理費比率	$\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	62.7%	63.4%	+0.7%
○財務の健全性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	80.7%	80.1%	▲0.6%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	426.3%	401.5%	▲24.8%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	67.0%	58.4%	▲8.6%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	7.5%	5.9%	▲1.6%
剰余金(欠損金)	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{-基本金・資本金}} \right)$	5,270,435千円	5,660,539千円	390,104千円

○ 経営戦略計画 (H29～H31) の概要

経営戦略方針
○ 安全を最優先する列車運行の実行 ○ お客様の様々なニーズを捉えた輸送サービスの提供 ○ 上記を通じ、名古屋駅周辺、ささしまライブ地区、金城ふ頭駅地区を軸とする公共交通機関として、地域の発展に貢献 ○ 収益力及び財務基盤の確保

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	31 目標値	31 実績値
安全運行を実行するとともに、安定輸送の確保、沿線開発に伴う新規輸送需要への対応等により、名古屋市南西部の基幹公共交通機関としての役割を果たす 【公共サービスの充実】	安全目標の達成(件数)	0	3
設備面、要員面等において安定的な事業運営のための基盤を整備する 【効率性の発揮と成果】	耐震補強工事の促進(施工済件数)	3	1
	レール交換の実施(施工済延長 km)	4.9	4.0
	オーバーホールの実施(件数)	11	10
効率的な会社運営を進めることなどにより、安定した収益力及び財務基盤を確保する 【財務内容の改善・向上】	イベント参加人数の増加(人)	5,000	9,166
	乗客数(人／日)	43,700	44,267
組織体制の検討、社員の育成及び登用等を進め、人材力・現場力を強化する 【人材力・現場力の強化】	サービス介助士資格の取得(取得者数)	4	4
	応急手当普及員資格の取得(取得者数)	6	6